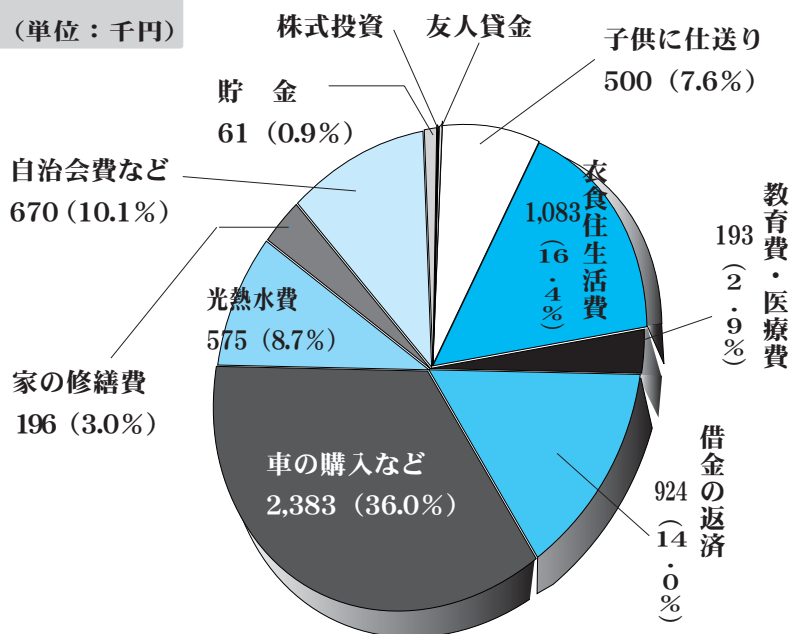


支出

(単位：千円)

一郎さんの家計では、年間支出(=歳出)が661万3千円。収支額は5万4千円の黒字になっていますが、実際には預金を大きく崩しているため、赤字の状況です。

「貯金」を増やせるような見通しがない時代なので、できるだけ取り崩さないよう、生活の見直しを含めた努力が必要となっています。



当別一郎さんの支出	(単位=円)
生活に必ず必要な経費	
衣食住生活費	1,083,000
教育費・医療費	193,000
借金の返済	924,000
大型生活必需品の購入費	
車の購入等	2,383,000
その他の生活費	
光熱水費	575,000
家の修繕	196,000
自治会費など	670,000
貯金	61,000
株式投資	12,000
友人貸金	16,000
子供に仕送り・父への医療費補助	500,000
合計	6,613,000

収	支	54,000
---	---	--------

町の実際の支出 (歳出)	執行額	(単位：千円)
義務的経費		
人件費		2,166,364
扶助費		386,748
公債費		1,847,293
投資的経費		
普通建設事業費		4,765,202
その他の経費		
物件費		1,149,329
維持補修費		393,181
補助費など		1,339,650
積立金		122,179
投資及び出資金		24,818
貸付金		32,000
繰出金		999,134
合計		13,225,898

収	支	107,542
---	---	---------

※ 一郎さんの支出は、「町の歳出」の2,000分の1で計算しています。

借金と貯金の総額

借金総額	9,728,000	地方債の現在高 (平成13年度決算による)	194億5,637万3千円
貯金総額	501,000	基金の現在高 (平成13年度決算による)	10億274万円

※ 一郎さんの家計では、借金が972万8千円あり、貯金は50万1千円しか残っていないこととなります。

12年度と13年度決算との比較

収入 妻・美子さんのパート収入(道からの支出金額)以外は、全て減っています。さらに、貯金の取り崩し・新たな借金が大幅に増えています。

支出 生活費については、できる限り抑えることに努めましたが、生活に必ず必要な経費(借金の返済額の増加などのため)や、大型生活必需品の購入(車の購入などのため)が増えてしまいました。

当別町の13年度の決算額 (特別会計)

収 入	(単位:円)
年金	72,900
手当	1,321,700
世帯主からの仕送り	111,100
繰越金	31,300
雑収入	200
積立貯金の取崩し	15,900
合 計	1,553,100

支 出	(単位:円)
病院代	1,108,300
介護サービス費用	390,100
積立貯金	100
その他の生活費	46,000
合 計	1,544,500

収 支	8,600
-----	-------

病院代(老人医療諸費)が支出の約72%です。これに介護サービス費用(介護給付費)を含めた費用に対する一定割合を「手当(国庫支出金・支払基金交付金)などとして受け、世帯主の一郎さんからの仕送り(一般会計繰入金)を加えて収支の均衡を図っています。

町の実際の収入(歳入)	執行額(単位:千円)	構成比(%)
介護保険料・介護サービス収入	145,710	4.7
国庫支出金・支払基金交付金・道支出金	2,643,422	85.1
一般会計繰入金	222,188	7.2
繰越金	62,510	2
諸収入	374	0
基金繰入金	31,864	1
合 計	3,106,068	100

町の実際の支出(歳出)	執行額(単位:千円)	構成比(%)
老人医療諸費	2,216,641	71.8
介護給付費等	780,109	25.2
介護給付費準備基金積立金	137	0
総務費・諸支出金等	91,974	3
合 計	3,088,861	100

収 支	17,207
-----	--------

父 護さんの家計簿
(介護保険・老人保健)



長男 保雄さんの家計簿 (国民健康保険)

収 入	(単位:円)
基本給	252,900
手当	444,000
親からの援助	80,300
繰越金	4,700
雑収入	16,000
合 計	797,900

支 出	(単位:円)
病院代	495,200
祖父の病院代	270,200
保険料	33,300
予防事業出資金	10,100
その他の生活費	20,500
合 計	829,300

収 支	-31,400
-----	---------

13年度の繰越金が少ないこと・護さんの健康状態が12年度と比べて悪いことが重なり、赤字となっています。

護さんの病院代を保雄さんの保険から支払っています(国民健康保険側負担)が支出の約33%を占めています。護さんには健康で過ごしてもらいたいと願っています。

町の実際の収入(歳入)	執行額(単位:千円)	構成比(%)
国保税	505,855	31.7
国庫支出金・交付金・道支出金	887,912	55.6
一般会計繰入金	160,606	10.1
繰越金	9,436	0.6
連合会支出金・共同事業交付金ほか	31,934	2.0
合 計	1,595,743	100

町の実際の支出(歳出)	執行額(単位:千円)	構成比(%)
保健給付費	990,337	59.7
老人保健拠出金	540,316	32.6
介護給付金	66,601	4.0
共同事業拠出金	20,289	1.2
保健事業費・総務費他	41,099	2.5
合 計	1,658,642	100

収 支	-62,899
-----	---------

収 入	(単位:円)
基本給	209,100
手 当	60,400
親からの援助	5,700
新たな借金	44,800
預金取り崩し	80,300
合 計	400,300

支 出	(単位:円)
生活に必ず必要な経費	
衣食住等の生活費	51,800
教育費、医療費等	9,000
借金の返済等	148,200
大型生活必需品購入費	
車の購入等	101,200
その他の生活費	
光熱水費等	37,600
家の修繕費等	31,400
自治会費等	21,100
合 計	400,300

収 支	0
-----	---

支出の中で一番大きな比重を占める「借金の返済等」(過去に実施した水道施設整備工事等の返済と減価償却費等)は約37%となっており、新たな施設整備には借金と預金の取崩しを行わないと収支の均衡が取れない状況です。

町の実際の収入(歳入)	執行額(単位:千円)	構成比(%)
水道料金	418,139	52.2
加入金及び手数料、工事補償金	120,895	15.1
事務委託料等		
一般会計繰入金	11,365	1.4
企業債	89,600	11.2
留保資金	160,684	20.1
合 計	800,683	100

町の実際の支出(歳出)	執行額(単位:千円)	構成比(%)
義務的経費		
人件費	103,627	12.9
法定福利費	17,945	2.2
企業債・減価償却費等	296,510	37.0
水道施設建設費	202,419	25.3
その他の経費		
水の製造・供給費	75,169	9.4
施設の維持・管理費	62,860	7.9
負担金等	42,153	5.3
合 計	800,683	100

収 支	0
-----	---

二男 水雄さんの家計簿 (水道事業会計)



借金・固定資産保有の状況 (平成13年度決算)			
借金の総額	75万5千円	企業債 現在高	15億951万円
固定資産総額	171万5千円	固定資産 現在高	34億3千15万円

※護さん・保雄さん・水雄さんの収入と支出は、「町の歳入・歳出」の2,000分の1で計算しています。